

令和4年度学校推薦型選抜（特別枠）の実施について（予告）

大阪教育大学では令和4年度学校推薦型選抜（令和3年度実施）において、将来、大阪府内で小学校教員になることを強く希望する等を出願要件とした新たな学校推薦型選抜（特別枠）を実施いたします。

詳細は下記のとおりとなっておりますが、令和3年7月発行予定の「令和4年度入学者選抜要項」及び「令和4年度学校推薦型選抜学生募集要項」を必ずご確認ください。

記

1 入学の時期

令和4年4月1日

2 募集専攻・募集人員

教育学部初等教育教員養成課程小学校教育専攻昼間コース 5名

（注）1校あたりの推薦人数は、「3 出願資格及び要件」（4）の①に該当する場合は5名以内、②に該当する場合は2名以内とし、①②合わせて5名以内とする。

3 出願資格及び要件

次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者。なお、令和4年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験すること。

（1） 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者

（2） 将来にわたり大阪府内の小学校での学校教育に携わることを強く志望する者

（3） 将来にわたり大阪府内の小学校教員として活躍を期待できる十分な資質、適性を有すると学校長が判断する者

（4） 次のいずれかに該当する者

①高等学校在学中に教育に関する科目を4単位以上履修した者

②高等学校在学中に教育委員会や大学が主催する教員養成に関する高校生対象の教育プログラム等（15時間以上のものに限る）に在学校の了解を得て参加し、修了した者

※修了したプログラムが、出願資格に該当するかどうか不明な場合は、できるだけ早い時期に、入試課まで問い合わせること。

4 出願書類

・学校長からの推薦書

・調査書

・志望理由書（400字程度）

・3の（4）の②で出願する場合、修了証書等

・探究活動やボランティアなど高校時代に教員になるために行った活動の記録など。

・入学後の検証等について本学に協力する旨の学校長からの誓約書（※）

※入学した学生の学習状況等を共有していただきたいと考えています。

5 出願期間

令和3年11月初旬（大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜と同時期を予定）

6 試験日程

令和3年11月中旬（大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜と同日を予定）

7 合格者発表

令和4年2月中旬

8 入学者選抜方法

提出された書類（推薦書，調査書，志望理由書，活動報告書等）並びに面接により，総合判定のうえ，合格内定者を決定します。さらに，令和4年度大学入学共通テスト（5教科7～8科目又は6教科7～8科目）において本学の定める教科・科目を受験し，その総合点が満点の60%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。

なお，合格者が募集人員を満たさない場合は，大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜及び一般選抜の合格者で補充します。

9 大学入学共通テストの利用教科・科目一覧

| 教科 | 科目等 |
|------------|--|
| 国語 | 国語 |
| 地理歴史 公民 | 世界史A，世界史B，日本史A，日本史B，地理A，地理B 現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」 |
| 数学 | 数学Ⅰ，数学Ⅰ・数学Aから1 数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学B，簿記・会計，情報関係基礎から1 |
| 理科 | ①物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から2 ②物理，化学，生物，地学から1 ③物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から2 並びに 物理，化学，生物，地学から1 *同一名称不可 ④物理，化学，生物，地学から2 |
| 外国語 | 英語（リスニング含む），ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から1 |

から1
又は2

①～④
から1
※

※地歴・公民及び理科の組合せは下記のいずれかとします。

- ・地歴・公民から2科目選択した場合は理科①又は②を選択してください。
- ・地歴・公民から1科目選択した場合は理科③又は④を選択してください。

*「同一名称を含む科目の組合せ」とは，「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」，「生物基礎」と「生物」，「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。）

・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は，原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。ただし，地歴・公民から2科目を受験したうち1科目を用いる場合，又は理科（物理，化学，生物，地学）から2科目を受験したうち1科目を用いる場合は，解答順に，前半60分で受験した科目を第1解答科目，後半60分で受験した科目を第2解答科目とし，第1解答科目の成績を用います。

・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は，高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。

以上